

有機材料システム研究科の3つのポリシー

【修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

前期課程では、所定の期間在籍し、当該研究の理念・目標に沿った教育課程を履修して所定の単位を修得、修士論文を提出して論文審査、最終試験に合格するとともに、以下を満たすものに学位を授与する。

1. 有機材料システム分野における研究能力と高度な専門性に支えられた論理的な思考力および記述力を備えている。
2. 高いコミュニケーション能力を有し、情報をグローバルに発信できる。

後期課程では、所定の期間在籍し、当該研究の理念・目標に沿った教育課程を履修して所定の単位を修得、博士論文を提出して論文審査、最終試験に合格するとともに、以下を満たすものに学位を授与する。

1. 有機材料システム分野における豊かな学識を有しており、研究者として自立できる能力を身に付けている。
2. 世界に通用する高度に専門的な研究・教育に従事するために必要な研究能力を有している。
3. 国際的視野に立って自ら研究リーダーとして技術・学術の発展を牽引し、社会に貢献できる素養を有している。

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

21世紀の社会情勢と産業構造の変革に呼応して「自ら新分野を開拓する能力を育てる大学」を目標とし、学部までの工学教育を更に広い視野から一層充実させ、研究活動を活発化して、科学技術の高度化・国際化に対応できる精深な学識を養う。

博士前期課程では、以下の教育課程を実施する。

1. 有機材料システムに関する深い知識が得られるよう、基礎から先端分野に及ぶ専門科目を配置する。
2. 有機材料が関わる学際領域や異なる研究領域に関する専門科目も開講するとともに、他研究科や他大学院で履修した科目も単位として認定する。
3. 英語によるコミュニケーション能力やグローバルな思考を養うためのグローバル・実践科目を必修とする。
4. 研究室で行われる実験や演習等を通して、技術者・研究者としての素養を実践的に身に付ける。

博士後期課程では、以下の教育課程を実施する。

1. 有機材料及びその周辺との融合分野に対してさらに幅広い知識を教授する専門科目を配置する。
2. リーダーシップを持ってグローバルな視点から研究開発を推進し、成果の有用性を世界に向けて発信できるような資質を身に付けるためのグローバル・実践科目を必修とする。

【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

■概要・特色

高分子材料、機能性有機材料等の有機材料は現代社会を支える重要な材料群の1つであり、その高性能化や新材料・新機能の開発が盛んに行われています。将来的には、他分野との融合や境界領域における利用までをも考慮し、有機材料を最大限に活用した新たな付加価値を持つ有機材料システムの創成が期待されます。山形大学大学院有機材料システム研究科では、有機材料の基礎から応用に至る知識を単に習得するのみならず、それらを核として他分野との連携により拡張される、より広範な有機材料システム分野を教育・研究の対象とし、既存の大学院理工学研究科博士前期課程の機能高分子工学専攻、有機デバイス工学専攻、後期課程の有機材料工学専攻を廃止して、平成28年4月に発展的に新研究科として設置されました。本研究科は有機材料システム専攻から成り、入学定員65人の博士前期課程（Master's Program）と同10人の博士後期課程（Doctor's Program）で構成されています。

前期課程では、「21世紀の社会情勢と産業構造の変革に呼応して『自ら新分野を開拓する能力を育てる大学院』を目標に工学教育を一層充実させ、研究活動を活性化して、科学技術の高度化・国際化に対応できる教育研究機関」として実践している学部の教育を受け、更に広い視野に立ち、精深な学識を養い、有機材料システム分野における研究能力と高度な専門性に支えられた卓越した能力を備え、情報をグローバルに発信できる人材を育成することを目標としています。

後期課程においては、有機材料システム分野における研究者として自立し、世界に通用する高度で専門的な研究・教育に従事するために必要な研究能力とその基礎となる豊かな学識を養って、国際的視野に立って自ら研究リーダーとして技術・学術の発展を牽引し社会に貢献する人材を育成することを目標としています。

■理念・目標

「有機材料システム研究分野における学生の探究心に応え、能力を啓発し、自立さらには新分野を開拓できる人材を育成」

「基礎知識を展開して高度な専門課題にも問題解決能力を有する技術者・研究者・教育者の養成」

「人として高い倫理観を持った技術者・研究者・教育者の養成」

■求める学生像

博士前期課程

以下の人材を求めています。

- 有機材料分野に関する基礎学力を有し、さらに深く学ぼうとする意欲のある人
- 有機材料分野に関する知識を生かし、論理的な思考のもと、自然科学の探究や研究開発に積極的に取り組む人
- 有機材料システム分野に関する知識や技術を通して広く社会に貢献したい人
- 社会の中での協調性を保ちながら、自ら考えて決断、実行できる人
- 他人への思いやりの心と高い倫理観を持つ人

博士後期課程

上記に加え、以下の人材を求めています。

- 専門分野以外に対しても深い関心を持ち、広い応用力を有する人
- グローバルな視野に立ち、世界で活躍する技術者・研究者・教育者を目指す人